

広報

# のほろへつ

## 主な内容

- 9月30日までに調査票がお手元に。10月1日は国勢調査……………2・3P
- 老人福祉週間 お年寄り生きがい……………4・5P
- 武者さんら3人に道社会貢献賞 ■今年も盛況、無料墓参バス ■全国大会でもがんばります 登高水泳部……………6P
- 郷土史探訪 ㊤ 登別の森林と開拓Ⅱ……………6P
- 市民の声……………7P

●No. 309 ●昭和55年9月1日発行 ●発行/北海道登別市●編集/総務部公聴広報課●印刷/中西印刷

## 小中学生のための札幌コンサート



## “生演奏”にうっとり

### 市制施行十周年

### 記念コンサート

夏休み期間中の八月七日、幌別小学校校体育館で、小・中学生のための札幌コンサート鑑賞会\*が行なわれました。

この行事は、市制施行十周年を記念して、生の音楽の魅力を味わってもらおうと開かれ、対象となった小学校五年以上から中学生まで約千人余りがつめかけました。

コンサートは、佐々木伸浩さんの指揮で、ワグナーの歌劇「ローエングリン」より第三幕前奏曲で幕を開け、チャイコフスキの組曲「くるみ割り人形」より「花のワルツ」、グローフェの組曲「大峽谷」より「山道を行く」、さらにビゼーの組曲「カルメン」より「闘牛士の歌」など、楽器紹介も交え、六曲にわたってオーケストラ演奏を披露。集まった小・中学生は、迫力ある生の演奏に聴き入っていました。

# 9 1980

# 9月30日までに、 調査票がお手元に。



## あなたが欠けても困ります。 国勢調査 昭和55年10月1日(水)

十月一日には、全国いっせいに国勢調査が行なわれます。

国勢調査は国内に住んでいるすべての人を対象とした、国の最も基本的で大規模な調査です。大正九年「文明国への仲間入り」を合言葉に初めて実施されて以来、五年ごとに行なわれ、今回の調査は十三回目にあたります。全国で約七十五万人、登録市では三百四十人の調査員がみなさまの家庭を訪問し、調査票を配布しご記入願うという、国をあげての一大調査です。この結果は、国の政治はもちろん北海道、登録市の行政に役立つ重要な資料となります。調査票の記入にあたっては、ありのまま、を正確に記入していただくため、国勢調査の内容についてご説明いたします。

### 今回の特色は

今回の国勢調査は、十年ごとの大規模調査の年に当たり、調査項目は前回の十六項目から二十二項目に増えました。

調査項目は男女の別、出生の年月、世帯構成、就業状態、現住居への入居時期、通勤・通学先と利用する交通の手段などで、今回の調査には、次のような特色があります。

① 高齢化が進むなかで、高齢者の就業や住居の状況を明らかに

② Uターン現象などの人口移動を明らかにし、「地方の時代」と呼ばれるような勢にあわせ、市町村単位でも利用できる統計資料にする。

③ 母子世帯、老人世帯など、社会福祉の対象となる世帯の実態を明らかにする。

④ 経済構造の変化にともなう職業別産業人口の分布変化を明らかにする。

⑤ 国際連合の「一九八〇年世界人口、住宅センサス計画」の一環として行なう国際的調査です。このように、現在我が国が抱えている様々な問題を明らかにしていきます。

### 秘密は守ります

国勢調査は国の最も重要な基本的な統計調査ですから、統計法の「指定統計第一号」に指定されています。

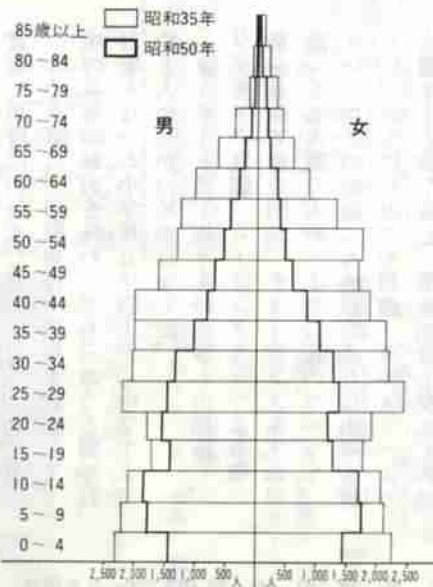
八月中に調査員を任命し、九月二十四日から三十日までの間に、一般家庭や下宿・間借りの方々に、調査員が調査票の記入のお願いにまいります。

記入していただいた調査票は十月一日から五日頃までの間に、調査員が取り集めに伺いますので、そのときにお渡しください。

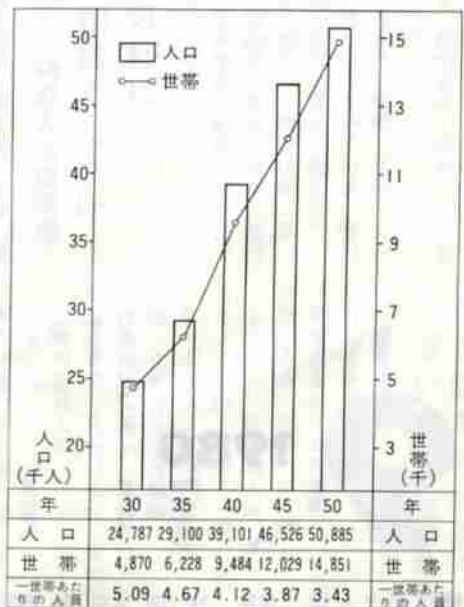
調査票に記入していただいた内容を、調査員や調査関係者が他にもらしたり、統計以外の目的に使用することは、法律により固く禁じられています。

個人や家庭の秘密はしっかりと守られますので、安心してありのままの申告をしてくださるようお願いいたします。

年齢別人口（昭和35年、50年）



人口と世帯数の推移



登録市の人口は、昭和三十五年から急激な伸びを示しています。また、世帯数も増加の一途をたどっていますが、一帯あたりの人員が減少し、核家族化の様相を深めていることがわかります。

### 調査票が届か なかつたら連絡を

九月三十日までに、すべての方に調査票をお配りすることになっ

国勢調査による、年齢別人口の対比グラフです。昭和三十五年にはおむねピラミッド型となつていますが、昭和五十年にはつりがね型に変わつてきています。

お手元に調査票が届かなかつたり、ご不審な点がありましたら、お手数ですが、市役所統計係（電話5局2111内線356・396）へご連絡ください。





## ただいま工事中 道々弁景幌別線

市内各地で、国や道の事業が進められていますが、幌別地区と鉾山町を結ぶ「道々弁景幌別線」の工事が総事業費1億400万円で行われています。  
今年、幌別ダム下の483mが全面舗装となるほか、舗装完了起点から鉾山町寄りに723mの道路改良と一部舗装が行われます。工事の完了予定は12月中旬です。  
—室蘭土木現業所—



# すべての人が対象です

国勢調査は住民基本台帳などの届け出に関係なく、ふだん住んでいる人と、ふだん住んでいない所で調査することになっています。外国人も必ず調査します。ただし、外国の外交団や領事団（随員やその家族を含む）、および外国軍隊の軍人や軍属とその家族は、調査しません。

「ふだん」とはどのくらい  
十月一日現在、すでに三ヶ月以上住んでいる人。または、最近移ってまだ三ヶ月以上住んでいないが、十月一日の前を通じて三ヶ月以上にわたり住むことになっている人をいいます。また、またま旅行、出かせぎ、入院などで一時不在の人は、不在期間が三ヶ月以内の場合は自宅、三ヶ月以上にわたる場合は旅行先や出かせぎ先、病院で調査します。これは、公職選挙法で選挙権が

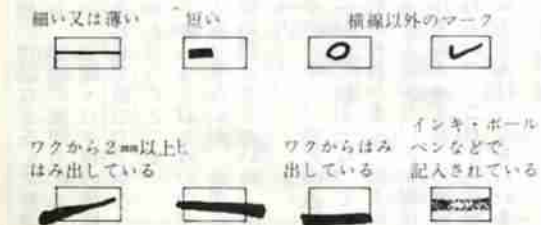
集計は「光学式マーク読取り装置（OMR）」という機械にかけて行われます。調査票の取扱いや記入について、以下の点にご注意ください。

- 調査票の取扱いについて
  - 汚したり、折ったり、丸めたり、破損させたりしないでください。
- 調査票に記入する際のお願い
  - 必ず黒鉛筆で記入してください。
  - 答えをマークで記入する箇所は、ワクいっぱい、太く、濃く、はっきりと横線を記入してください。
  - 文字や数字で答える箇所は、点線のワク（□）からはみ出さないように記入してください。
  - 誤って記入したときは、消しゴムできれいに消してください。

### ○良いマークの例



### ×悪いマークの例



## 記入は黒鉛筆を使って

得られる資格要件の一つ「三ヶ月以上」に合わせたものです。とはいえ、三ヶ月という期間は季節の区切り、春夏秋冬の「シーズン」であり、また「辛抱は三日・三月・三年」といわれるように、わたしたち日本人の暮らしのリズムでもあるようです。

このほか、次の人たちは、それぞれの場所をふだん住んでいるところとみて、そこで調査することになります。

- ▽学校の寄宿舎、下宿屋、学生寮などから通学している学生・生徒
- ▽その寄宿舎や下宿屋など
- ▽船舶に乗り組んでいる人
- ▽自衛隊の営舎または艦船内の居住者
- ▽その営舎または艦船
- ▽刑務所・拘留所の収容者のうち刑の決まっている人、少年院・婦人補導院の収容者
- ▽その収容先

## 国勢の勢は情勢の勢

国勢調査の「国勢」を、「国勢の勢」あるいは「国の勢力」というふうに解釈している人が意外に多いといわれます。しかし、それは誤りです。明治二十九年の国勢調査（前身）の建議案には「ひとたびこの調査を行なうときは、全国の

情勢これを掌上に見るを得べし」と記されており、この建議案からは、国勢とは、国の勢いでも国の勢力でもなく、正しくは国の情勢であることがわかります。また、なかには国勢調査を「こくせい調査」とよぶ人もいます。

しかし、これも情勢のせいです。ですから「こくせい調査」が正しく、多勢（たせい、おおせい）のせいではないということですね。



## はがきを出す前に

### 登別郵便局

郵便はがきには、裏面だけでなく表面にも通信文を書いたりスタンプを押すことができますが、表面に書く場合は下部二分の一（横長に使用する場合は左側二分の一）以内に限ります。

これをオーバーしますと封書料金となります。

また、はがきにはかなり大きいものがありますが、郵便はがきとして二十円を出せるものは長辺十四・五センチ、短辺九・十センチ、重さ二・六グラムです。

これをオーバーしますと前記同様封書料金となり、これより小さいものは郵便として出すことができませんのでご注意ください。

## 自衛官を募集しています

- ▽受験資格 十八歳〜二十四歳までの男・女。
  - ▽受付 自衛隊室蘭募集事務所 常時受け付けています。（室蘭市東町二丁目二番二二号、石井ビル二階）
  - ▽身分 特別職国家公務員
  - ▽給与 初任給八万八千四百円（衣食住無料支給）賞与四・九カ月（年間）
  - ▽高卒者の採用コース（来年三月卒業見込みを含む）
    - 男子 一般2等陸海空士、一般曹候補生、航空学生（パイロット）、防衛大学校、防衛医科大学校
    - 女子 一般2等陸海空士、高等看護学院学生
- ※詳しくは自衛隊室蘭募集事務所（電話014334419533）へお問い合わせください。



### 老人福祉週間

# お年寄りと生きがい

そういつたお年寄りの一番気がかりなことは生活設計のこと、健康のこと、そして孤独感でしょう。登録市では、こうしたお年寄りにいくらかでも暮しやすく、心配のない生活を送っていただくことと福祉行政を進めています。

老人医療費無料化を六十九歳まで引下げ、老人憩いの家の増設、湯のまち登録市ならではの老人一日湯治、今年度建設予定の老人福祉センターなど――。

しかし、これらの福祉行政にも限界があります。

施設や制度だけで、本当の心の安らぎが得られるのでしょうか。

それは、お年寄りを取りまく地域や家庭という、温かい器があつてこそ、解決できるものです。

さらにお年寄りが持つ豊かな経験や知恵を存分に社会活動に発揮していただくことも大切です。

ギリシャの古い諺(ことわざ)に、「家に一人も老人がいなかったら、一人借りよ」というのがあります。

つまり、老人の長い人生の経験で培われた知恵は、人間社会の中で不可欠だということを意味するのでしょう。

これを現代に置き換えるなら、「明治人の知恵と、大正人のロマンスと、昭和人の行動力」で、明るく生きがいのある社会をつくり出そう、ということがなるのではないのでしょうか。

この機械に、わたしたち自身が「自分の老後のこと」そして「まわりにいるお年寄りのこと」を真剣に考えてみることも必要ではないでしょうか。

老人福祉週間にちなんで、写真特集を組んでみました。

## 自分たちでできることは……



老人クラブ連合会  
ボランティア班長

畑山藤次郎さん (72歳)

連者なのがいる、そういう人たちに世話役にもなわってもらうおじやないか――と、今年の一月、単位クラブから推薦してもらった二十四名でボランティア班が構成された。

私は連絡役ということで班長を引き受けたが、みんなはりきっているんですよ。

六月の敬老号では、バスの乗り

### 老人一日湯治

## 温泉でくつろぎ

温泉に入っのんびりくつろぎに合わせ、八月五日から八日にかけて約千三百人のお年寄りが参加し、市内に住む長寿祈願が行なわれたほか、盆踊り、屋台や花火大会などもあり、夏の日を満喫していただきました。

今年、カルルス温泉町の祭典



降りや部屋の世話などをして好評を得たほか、施設の慰問やオムツ難きん縫い、公園・バス停の清掃と、力を合わせて数の力でやろうじゃないかと言うことですよ。

発足してからまだ日が浅いので充分なことではないが、連者なうちは世間の役に立ちたいね。張り合いにもなるし。

老人クラブの中で、婦人の占める割合は三分の二以上となっているが、男性の役員が多く、婦人の意志が入ることは少ないのが現状。こうした中で婦人リーダーの養成も一つのねらいで、これからは婦人の方々にもがんばってもらいますよ。



## 生きがいのある社会づくりは「敬老の日」に考える

このところ全国的に「孤独な老人」がふえています。

警察庁がまとめた「自殺白書」(54年中の自殺者)によりますと、昨年一年間の全自殺者のうち、六十五歳以上のお年寄りは四千九百九十九人で、年代別ではトップ」という悲しい数字を記録しています。いったいその理由は何なのでしょう。

九月十五日の「敬老の日」を機会に、あえてこのテーマを考えてみました。

### パパの「餌箱」

有名なグリムの童話にこんな話があります。

年老いた父と、イタズラ盛りの子供を持つ農夫がいました。この農夫は、年老いた父が食べ物をこぼしたり、皿を



## 老人農園

# 待ち遠しい収穫祭

土にまみれながら、健康を保ち老人クラブ活動の一環にと、昭和五十一年に誕生した老人農園。今年からは、市内四方所に分散して実施されました。

現在、老人クラブ連合会が主体となっており、ジャガイモやトウモロコシなど十月の収穫祭に向け、お年寄りの丹精込めた農作業が行なわれています。

ここ、富岸・鷺別地区の老人農園では、和気あいあいと秋ダイコンの草取りが行なわれていました。きつと楽しい秋の一日を約束してくれることでしょう。

## 老人生きがい焼き

# あふれる意欲

養護老人ホーム恵寿園の陶芸作業場を開放して、昨年からスタートしたお年寄りの陶芸教室。

四十四人のお年寄りが「生きがい焼」に取り組んでいます。そこには、充実した人生を自ら開こうとする意欲があふれています。

作品は、市民まつりに展示したほか、今年度建設予定の老人福祉センターの一角を飾るレリーフを製作しようとして、



## 老人大学

# 新しい知識を吸収

月に一回、ユニークな内容で好評な老人大学。

修了証や卒業証書も用意され、生きがいのある人生観や時代の進歩に応じた新しい知識と教養を身につけようと、毎回二百五十人のお年寄りが熱心に受講しています。



## 敬老の日にちなんで…… 敬老年金をお渡しします

毎年9月に、お年寄りに敬意をあらわし、あわせて福祉の増進をはかるため、65歳以上のお年寄りに敬老年金を差し上げています。

支給額は、昨年から増額されて次のとおりとなっています。

- ◎65歳～69歳…………… 4,000円
- ◎70歳～79歳…………… 6,000円
- ◎80歳以上…………… 12,000円

対象者には、はがきでお知らせしていますが、もし9月8日をすぎても届かない場合は、お問い合わせください。

※窓口 福祉事務所保護課給付係 電話5局2111 内線296

### 敬老年金支給日程表

月 日	午前10:00～12:00		午後1:00～4:00	
	地区	憩の家	地区	憩の家
9月9日 (火)	千歳福寿園 中登別白樺の家 富浦・幸寿の家	中央静和園 登別温泉別荘 中央静和園	中央静和園 登別温泉別荘 中央静和園	中央静和園 登別温泉別荘 中央静和園
9月10日 (水)	登別芙蓉の家 若山・大和あかしの家 栄共栄園	登別明和園 桜木・緑桜木の家 栄栄園	登別明和園 桜木・緑桜木の家 栄栄園	登別明和園 桜木・緑桜木の家 栄栄園
9月11日 (木)	柏片木倉 柏木の家の家 梅の木の家	富新士富土の家 川ねむの木の家	富新士富土の家 川ねむの木の家	富新士富土の家 川ねむの木の家
9月12日 (金)	美園旭丘三恵園 鷺別双和園	美園光和園 別公民和園 草優和園	美園光和園 別公民和園 草優和園	美園光和園 別公民和園 草優和園
宅配	12日—富岸(午前) 13日—鉾山、川上(午前) 16日—カルルス、上登別、中登別、札内(一部)			



割のを見て、木の鉢を与え、家族から離れたところで食事させていました。

ある日、農夫は子供が小さな板切れを集めているのを見つけた。

「お前、そんなに板切れを集めてどうするつもりだ？」と不審に思った農夫が聞きました。

少年は胸を張って答えたのです。「パパが年をとったときのために、これで「顔箱」を作るんだッ」。

その日以来、祖父が一家と同じ食卓につくようになったのはいうまでもありません。

この寓話は、私たち人間の心の裏側に実に巧みに描き出されています。とくに戦後、核家族化が急速に進んだ日本では、残念ながらこの寓話に登場するような孤独な老人がふえているのもまた事実なのです。

警察庁の「自殺白書」でも、自殺の原因や動機は一番が病苦で、②アルコール中毒症・精神障害、③家庭問題④経済生活問題の順となっています。これを前年と比較すると、経済問題が二位から四位に後退していますし、ここにも「生きがい」など、心の問題が多くを老人を死に追いやっていくことが、はっきり表れています。



# 武者さんら三人に道社会貢献賞



伝達式で市長から表彰状を受け  
る武田よしえさん

## 今年も盛況

### 無料募参バス

今年も八月十三日から十六日までの四日間、富浦墓地行きの無料



本年度の北海道社会貢献賞に、登別市内から武者千代治さん（富士町四丁目三十一番地、六十一歳）久我修造さん（登別東町四丁目四十八番地、六十歳）が、道善行賞に武田よしえさん（富浦町一丁目二十三番地、五十九歳）が選ばれ、道知事表彰が贈られました。

久我修造さんは、統計功労者として受賞したもので、小売店を営むかたわら昭和二十五年十月の国勢調査以来、国勢調査員として六回、工業統計調査員として九回、農業基本調査員二十六回、その他各種統計調査員として現在に至るまで統計調査に協力してきました。武田よしえさんは、ボランティア活動実践者として、昭和四十五年から富浦駅の待合室の清掃を継続十年間にあたり毎日実施し、今後も継続するということです。受賞式は、それぞれ八月中旬に行われましたが、八月十二日には、武田よしえさんに対する道知事表彰の伝達式が市長室で行われ、中浜市長から表彰状と記念品が手渡されました。

バスを運行しました。富浦墓地は、年々利用者も増えお墓参りに訪れる市民も多くなっております。お盆時期の足を確保しようとして、昨年から実施しました。今年の利用状況は、昨年を上回る延べ六百五十八人となりましたが、お年寄りや家族連れにまじって若い人たちの姿も目につくようになりました。

## 全国大会でも がんばります

### 登高水泳部

全日本高校選手権水泳競技大会に出場する登別高校の水泳部員十人が八月五日、市役



所を訪れ、中浜市長から激励を受けました。同校の水泳部は、四十年から六年連続インターハイに出場していますが、大量十一人もの選手が全国大会に出場するのは五十年以来のこと。選手らは「ベストを尽くします」と健闘を誓っています。

# 郷土史探訪

## 登別の森林と開拓 II

現在でも栗の木が多く繁っています。

登別地方のアイヌ語地名には、それぞれの樹が群生していることよって名づけられた地域があり、わかし樹の分布状況も部分的にわかれます。

例えば、登別から温泉に行く途中の中登別の桜並木は昭和九年から植えられたものですが、並木の東側一帯の丘陵地は江戸末期から南部藩が馬の放牧場として使用したところで、その後昭和にいたるまで牧場として利用され、陸軍では馬事訓練所を設け、大戦後は農林省の家畜衛生試験場となったり古くから牧場として知られている所です。

ところがこの地帯は「カシヤムニウシ」（栗の木）の群生している所」と昔から呼ばれていた地域で

江戸末期の安政五年（一八五八年）当地方を探検した長沢誠至の「東蝦夷地海岸図台帳」にも登別地方にカツラ、栗、センの木が最も多い事が記されています。

登別にあるこれら樹木のきり出しには、江戸末期からすでにじまっていますから、本格的な林業は明治になってからで、鷺別岳のふもと、カムイヌプリ東部、幌別川の川上や来馬岳のふもとからは主としてトド松、オカシベツ、来馬川、登別川上流からはエゾ松の良材がともに蝦夷のひのきとして一時きり出されました。

明治十四年以降の登別市の貴重な資料である「村治類典」には、これら良材のきり出しや払い下げ願いと同時に伐採地には、ひのきを植樹して、成育の状況は良好であった記録もみられますが、現在は杉も部分的にみられるだけです。

それに農業中心の開拓は、原始の森を征服する事が第一であったので、畑にするためには大木といえどもきり倒し、生活に必要とする以外は焼却しながら処理したという荒っぽいやり方でしたから、早く入植した幌別、富



片倉清光の屋敷にあったイチイ（オンコ）の木で、現在は幌別町3丁目広瀬病院長宅にあります。

浦、鷺別地区や海岸に近い森林資源はすく枯渇してきました。それに人口が増加し、明治二十五年室蘭と岩見沢間に鉄道が通過するようになると、栗の木がまくら木材としてきり出され、ナラの木は道内屈指の良材としてつみ出され、登別地方に多くあったカツラも少なくなりしました。

もち論議からのきり出しは、林道の開削に膨大な資金を必要とします。登別川、来馬川、幌別川では上流からの川流しによる搬出が行なわれたり、冬期間雪の上を馬で引き出したりしました。川の形は、登別のどの川も大きくだ行っていました。砂利の採取もなく、木はうっそうとして茂り工業用水、飲料水としての取水もないので、川幅はやや今日より狭いが、水量は豊富で水深もあり川流しに便利であったようです。しかし木材の搬出は、機動力のない昔は雪を利用する冬の作業なので大変でした。山行きの服装は、ひざ下までのモンペかモモヒキをはいて、足にはワラで作ったハベキか夏はブドウの皮をまきつけてけがをしないように、腰には犬皮、熊皮などの毛皮で作ったアテシコをつけ、夏はわらじ、冬は布で足を包んでツマゴをはいていました。上着は、木綿を幾枚か重ねて細く刺したサシコのドンジャに、冬は毛皮の外とう、寒い場合は中にそでなしの毛皮か、毛皮の背あてをつけ、腰にナタをさげる、それにむしるで作ったシヨイコの中のごきり、まさかり、弁当などを入れて背負った姿が当時の山仕事を人達の服装でした。

登別市郷土文化研究会 宮武 記



市民の



声

警察官、派出所および駐在所は、現在五カ所十九名の配置であり、ますます発展途上にある当市としては、犯罪・事故から市民の生命財産を守り、不安のない市民生活を望むのは至難であると考え、現在道議会に対し、警察署の設置について請願しています。

(総務部企画課)

登別市は、市でありながら警察署がないため、もし緊急事態が発生したときの事を考えますと、保面などに不安を感じます。

これから、さらに人口の増加が予想される市ですので、是非早期に警察署の設置をお願いいたします。(市内片倉町六丁目一番地二吉田 幸元さん)

登別市は急速なテンポで市街化が進み、また市内を通過する国道三十六号線の交通量も著しく増加している現状から、警察機構の充実が当然必要と認識しています。市内における室蘭警察署管内の

討し、一部実施しています。その中で、ご意見のありました幌別駅西口のタクシー乗場の屋根の取り付けについて、国鉄当局と協議した結果、タクシー乗場だけに屋根を取り付けることは、駅的美観上などから、好ましくないとのことです。

このため市では、現在幌別駅東口駅前広場造成事業の中で、国鉄の許可を受け工事中です。同じように、西口についてもタクシーに乗る人だけが利用するのはなく、バスに乗る人も、駅施設を利用する人も含め、西口駅前全体の利用計画をたて、みなさんが利用できるような施設を設置する方針で、今後とも国鉄当局と協議を進めていきます。

(土木部開発課)

家が駅から遠いということと利用している人も多くいることと想われまますので、是非タクシー乗場に屋根を付けてください。(市内常盤町四丁目三七番地四 宮川 菊江さん)

現在市では、幌別駅前広場を含め市内三駅の駅前広場の整備をすすめています。

スポーツ短信

市制施行十周年記念

第一回総合武道大会が開催されます

登別市体育協会加盟の五武道団体が一堂に会し、市制施行十周年を記念するとともに、第三回市民総合スポーツ祭の協賛行事として次のとおり各種演武が初公開され

ます。

▽日時 九月七日 午前十時から

▽場所 市立総合体育館

▽参加団体 登別剣道連盟、登別銃剣道連盟、少林寺拳法登別連盟、登別市空手道連盟、登別柔道連盟

▽公開演武は、各種武道の形ならびに各種模範試合で、小学生から一般まで合わせて二百名が出演します。

文芸

短歌

猪狩テツ子  
真白なるボール高々空にあげ  
一つの区切り吾につけたり

五井 治保  
育て来し野菜が卓に調理され  
彩りそえて酒のうまかり

三本福四郎  
鞆と妻がよそえる塩ゆでの  
夏の味覚に母を思ひて

白井長流水  
釣り暮れて帰る砂丘の遠近に  
嘸びとし溶いて絵皿の詩が痛む

川柳

田中 トヨ  
まごころにふればれば鐘びた鈴も  
鳴る

渡部 三男  
パイブルに手を載せている嘘も  
ある

岡崎 守  
子の夢を積んで沈める難破船  
嘸びとし溶いて絵皿の詩が痛む

宮村 フヨ  
嘸びとし溶いて絵皿の詩が痛む

ゴミ焼きは届け出を  
"消火の備え"も忘れなく

最近、無届けのゴミ焼きが相次ぎ、消防自動車が出動するといったケースが増えています。

家庭などでゴミ焼きをする時は次の三点に注意するとともに、消防へ連絡してから行なうてくださ

い。

▽風のない日を選ぶ

▽安全な場所で行なう

▽消火の準備をする

▽消防支署などの電話番号は次のとおりです。

中央支署………5局 2551

登別温泉支署………4局 2319

登別支署………6局 7359

登別出張所………3局 1115

▽ルール 日本ソフトボール協会競技規則を準用し、グラウンドルールについては監督会議で決定します。

▽申込み先、期日 登別市総合体育館(電話5局5552)

九月二十日までに、申し込み用紙によりチーム単位で申し込みください。

▽注意事項 ※グローブは各チームで準備すること ※バット、ボールは主催者が準備します ※スパイクの使用は禁止です

教育委員会では、スポーツの秋を楽しくすこしていただくため、

市民ソフトボール大会  
参加チームを募集

自転車に  
カギをかけよう

室蘭警察署  
登別警察官派出所

最近、自転車の盗難が目立って多くなっており、今年一月から七月末までに市内で三十九台が被害にあっています。

このうち、三十六台(九十二%)はカギをつけていなかったために被害にあったものです。

カギがつけられていたのに盗まれたのは三台だけでした。

みなさん、自転車には必ずカギをかけましょう。ちよつとの時間だから「まさか」は危険です。

被害場所のベスト3			被害率		
順位	被害場所	盗難台数	台	率	%
1	駅前広場及び中央町	20	台	51	%
2	常盤町	4	台	10	%
3	桜木町	4	台	10	%

被害時間のベスト3			被害率		
順位	被害時間	盗難台数	台	率	%
1	18:00~19:00	9	台	23	%
2	16:00~17:00	7	台	17	%
3	15:00~16:00	6	台	15.4	%

来馬駐在所

建替え工事のため  
移転しています

富士町の来馬駐在所では、老朽化による建替え工事のため、富士町七丁目三四番地(来馬の湯隣り)に移転して業務を行なっています。同工事の完成予定は十一月月上旬で、電話番号はこれまで通り5局2333番です。



# 西部振胆 青年国内派遣研修団員を 募集しています

青年団体活動先進地の視察、研修をとおして、青年団体リーダーの養成を目的に、青年国内派遣研修を登別市、室蘭市、伊達市の共催で次のとおり実施いたします。  
登別市でも団員を募集いたしますので申し込みにください。  
△実施要領▽



## ゴミを出すときの注意

- ゴミは収集日の朝九時までにゴミステーションに出しましょう。
- 台所のゴミなど水分の含んだ物は、よく水を切ってから出しましょう。
- 庭木など自分で切って出す場合は、六十センチに束ねて、一度にたくさん出さずに何回かにわけて出しましょう。
- 割れたビンやガラスの破片を出すときは、厚紙でくるみ、キケンと表示しましょう。
- ゴミは袋詰めして口をしはるかこん包してください。
- カラスやイヌ・ネコがいたずらしないよう、注意しましょう。

- ▽派遣期間 昭和五十五年十一月四日～八日 四泊五日
- ▽派遣先 東京都近郊
- ▽派遣人員 各市五名
- ▽研修内容 社会教育施設見学、先進地青年団体との交流
- ▽参加資格 おおむね十八歳から二十五歳までの青年男・女で、現に団体活動をしている人、もしくは今後団体活動に参加しようとする人で、十月二十五・二十六日(一泊二日)の事前研修に参加可能なもの。

- ▽旅費 参加者負担金、二万円、市負担金：参加者一名につき八万円
- ▽研修結果報告書 研修終了後十四日以内にレポート提出のこと
- ▽応募方法、選考方法  
参加申込書と承諾承認書(市教育委員会にあり)を市教育委員会(社会教育課)へ提出、市教育委員会が選考する。

## 昭和55年度北海道優良勤労青少年 橋田さん、稲船さんが受彰

昭和55年度優良勤労青少年の表彰式が7月18日胆振支庁大会議室で実施されました。  
これは、北海道が勤労青少年のために例年実施しており、各市町村内事業所などからの推せんにより、市町村長が意見書を添えて胆振支庁長へ推せんするもので、今年度は、胆振管内で二十名、当市から二名が表彰されました。

- 橋田隆男さん(二十四歳)  
住所：登別市幌別町四十九  
勤務先：三和工業(株)
- 稲船修さん(二十二歳)  
住所：登別市鷺別町三十四  
勤務先：三和工業(株)

## ゆくえ不明者 相談所を開設

みなさんの家族や親戚の方で、家出をしたり、出張や出張先などから、突然所在が不明になった人はいませんか。  
道内では、昭和四十五年から現在まで約八千四百人の方がゆくえ不明となっています。

このなかには、不幸にも犯罪の被害者になったり、すでに死亡して身元がわからないために、無縁墓地に淋しく葬られている人もいます。  
このような人を、少しでもなくしたいということから、今年も次の日程で「ゆくえ不明者相談所」を開設いたします。  
個人の名誉と秘密は厳守いたしますので、安心してご相談におい

ター(受付/11時15分～30分、対象/幌別地区の昭和55年6月出生児)  
9月18日：鷺別公民館(受付/11時15分～30分、対象/鷺別地区の昭和55年6月出生児)  
9月19日：登別公民館(受付/12時30分～45分、対象/登別登別温泉地区の昭和55年5月・6月出生児)

ご寄贈ありがとうございます  
ごさいます(敬称略)  
一般寄付  
▽現金寄贈 伊達隆三  
養護老人ホーム恵寿園へ  
▽物品寄贈 笠原一馬、村上トシ子他十名、松浦福太郎、老人クラブ常葉会・寿葉会・南山会、佐々木マサエ、小原ラーメン工場、北海道花王石鹸  
▽現金寄贈 登別婦人会、登別地区町内会婦人部、スワンモータークラブ、山名建設  
▽物品寄贈 登別婦人会、登別地区町内会婦人部、千葉佳子、高畑好良、匿名  
▽古切手寄贈 幌別東小児童会、登別北自運輸、国立登別病院患者一同、和田工務店、佐藤茂太郎、小林雅子、福島建設

## 赤ちゃん相談 (三カ月児)

▽日時 九月十七日・十八日 午前九時三十分～午後四時まで  
▽場所 室蘭警察署(室蘭市新富町一帯地)  
▽内容 医師による診療、計測、生活指導、栄養指導  
▽用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル  
▽日程 9月17日：労働福祉センター

札幌法務局室蘭支局、室蘭人権擁護委員協議会では、特設人権相談所を開設いたします。  
人権問題、その他、「借地、借家」「金銭貸借」「登記」「戸籍」「家庭」の問題など日常生活で困りの方は、お気軽に相談ください。(秘密は守られます)  
と き 9月12日(金)  
10時から15時まで  
●ところ 労働福祉センター二階  
●ホール(市民ホール隣)  
●相談員 札幌法務局室蘭支局担当官、地元人権擁護委員

街頭献血のお知らせ  
次の日程により街頭献血を行いますので、市民のみなさまのご協力をお願いします。  
●九月九日(火曜日)  
午前十時～十二時/中央公民館前  
午後一時～四時三十分/美園町イーストショップ前

## 不用品ダイヤル市 5局2111 内線 257

おわけします(売り)  
婦人用3輪自転車、女子用自転車(小学4～5年生用)、ジュースミキサー、冷蔵庫洗たく機、電気温水器、足踏式ミシン、写真引伸機、カーペット(8畳)

ゆずってください(買い)  
ダブルベッド、セミダブルベッド、子供用食卓イス、男子用自転車(7歳、19～20インチ、18インチ)、女子用自転車(4～5歳用)電気オルガン、リコピー、ポット式石油ストーブ、反射式石油ストーブ、電動ミシン、プランコ、すべり台、ガス台、電話、テント(5～6人用)、ガスレンジ、ぶらさがり健康機

三歳児健康診査  
対象児の訂正  
8月15日号で三歳児健康診査の対象児を昭和52年4月1日から8月31日までの出生児とお知らせ致しましたが、昭和52年2月1日から8月31日までの誤りですので、お詫びして訂正致します。